

# 令和4年第3回定例会

## 請願文書表

令和4年請願第1号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書
令和4年請願第2号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願

## 請 願 文 書 表

請 願 名	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書
受 理 番 号	令和4年請願第1号
受 理 年 月 日	令和4年8月23日
請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	茨城県取手市新町4-12-15 県南民主商工会 会長 高野 一寿 外1名
紹 介 議 員	金剛寺 博, 伊藤 悦子
付 託 委 員 会	環境生活委員会
<p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>国は2023年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）を実施するとして、事業者登録を進めているところです。これまで消費税制度は、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下では、納税義務を免除してきました。インボイス（適格請求書）制度は、取引金額や年月日、品目、消費税額などに加え、新たに税務署から割り振られた事業者番号を記載した請求書や領収書のことです。</p> <p>インボイスを発行するためには、いかに営業収入が少なくても、課税業者となり、消費税納税の義務が発生します。課税業者にならなければ、取引から除外される可能性もあります。個人事業主やフリーランス、個人タクシー運転手、小規模農家など広範な人に負担増が強いられます。また、シルバー人材センターに登録して働く高齢者も対象となる制度です。</p> <p>このため、日本商工会議所や全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会をはじめ、様々な団体・個人から、制度の廃止や実施延期を求める声が上がっています。多くの中小零細業者は、コロナ危機の下、事業継続、雇用維持に懸命に取り組んでおり、インボイス制度への登録、経理変更準備に取り組む状況ではありません。これ以上の負担を課すことは、コロナ禍からの経済再生を阻害することにもつながります。よって、中小零細事業者や個人事業主の事業継続と再生のために、下記の事項を請願します。</p> <p><b>【請願事項】</b></p> <p>1. 消費税インボイス制度の実施を中止することを求める意見書を国へ提出すること</p>	

## 請 願 文 書 表

請 願 名	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を 求める請願
受 理 番 号	令和4年請願第2号
受 理 年 月 日	令和4年8月25日
請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	茨城県龍ヶ崎市薄倉町1362番地 全日本年金者組合龍ヶ崎支部 支部長 富山 勝 外724名
紹 介 議 員	油原 信義, 石引 礼穂, 後藤 敦志, 後藤 光秀 大野 誠一郎, 伊藤 悦子
付 託 委 員 会	文教福祉委員会
<p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>全日本年金者組合龍ヶ崎支部では、昨年6月に貴議会に本請願と同趣旨の陳情を致し、文教福祉委員会および本会議にて慎重審議していただいたところであります。しかし、残念ながら採択に至りませんでした。その後1年が経過しましたが、高齢者の補聴器購入に対する一定程度の補助を求める要求は高く、また「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」が全国的に多くの自治体で採択されつつあり、公的補助制度の創設の決定も広がっています。よって当支部は、貴市議会において再度この問題をご審議いただきたく、市民の賛同署名を付してここに請願書を提出することに致しました。趣旨ご賢察の上、何卒再度ご審議いただきたくお願い申し上げます。</p> <p>年齢を重ねるにつれ聴力は衰え、加齢性難聴は40歳ごろから始まり、70歳代では3人に1人、80歳代では大半の人がなると言われています。放置しておくとなんと人の接触が困難になり、日常生活の質を落とす原因となり、ひいては「閉じこもり」や「寝たきり」を引き起こし、「うつ病」や「認知症」にもつながるとい研究結果もあります。厚生労働省の「新オレンジプラン」でも「難聴」を認知症の危険因子の一つに挙げています。</p> <p>わが国の補聴器の普及は欧米諸国に比べ遅れています。ある調査によれば補聴器の使用率はイギリスが42.4%、ドイツ34.9%、フランス34.1%、アメリカ30.2%などに対して、わが国は13.5%と半分以下になっています（日本補聴器工業会2015年調査）。我が国の補聴器の普及が遅れている理由の一つに「価格が高い」ことがあります。一般に基本的な性能を持つ補聴器は片耳で10万円台、両耳で20万円台といわれています。しかも、保険適用ではないので身体障害者福祉法による医療控除対象者を除けば全額自費で購入されます。高齢者にはたいへんな負担です。</p> <p>現在、東京都では、23区中16区で補助制度が開始されております。補助額は2万～3万円程度が主流ですが、補助は全国的にも広がってきています。</p> <p>よって龍ヶ崎市においても、高齢者が心身ともに健やかに過ごし、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながる加齢性難聴者の補聴器購入に関わる公的助成制度を創設されますよう請願する次第です。</p>	

**【請願事項】**

1. 加齢性難聴に対する補聴器購入への助成制度の創設を求めます